

福岡県医発第 293 号 (総)

平成 17 年 5 月 6 日



各 医 師 会 長 殿

福岡県医師会
会長 竹 嶋 康 弘



平成 17 年度「日本医師会医学賞」ならびに「日本医師会医学研究助成費」

候補の推薦について (お願い)

標記について、日本医師会長から推薦方依頼がありました。

別紙要項により、両賞に募集される方がおられましたら、来る 6 月 24 日 (金) までに下記のとおりご推薦くださいますようお願い申し上げます。該当者のない場合も、その旨ご報告願います。

なお、要項にありますように、日本医師会医学賞は「医学上重要な業績をあげたもの」、日本医師会医学研究助成費は「医学上将来性に富む研究を行っているもの」に授与するものであることを申し添えます。

また、推薦数が両賞 1 名ずつとなっておりますので、応募者多数の場合は、選考させていただくことをご了承願います。

記

1. 日本医師会医学賞

- (1) 1 名当たり 500 万円
- (2) 基礎医学部門・社会医学部門・臨床医学部門を通じ計 3 名におくられる。

2. 日本医師会医学研究助成費

- (1) 1 件当たり 150 万円
- (2) 基礎医学部門・社会医学部門・臨床医学部門を通じ計 15 件におくられる。

3. 注意事項

- (1) 被推薦者は日本医師会会員であることが条件です。所属医師会を必ずご記入下さい。
- (2) 推薦書はワープロまたは黒インク・黒ボールペンでご記入下さい。
- (3) 用紙は、医学賞が 4 枚、医学研究助成費が 3 枚あります。また用紙は、日本医師会のホームページ (<http://www.med.or.jp/>) からダウンロードできます。
- (4) 「部門」欄には「基礎」「社会」「臨床」のいずれかを審査を希望する部門を必ずご記入下さい。
- (5) 「医学賞」候補には業績欄に記入した主要文献を必ず添付して下さい (別刷にても可)
- (6) ご参考までにこれまでの授賞一覧表を同封いたします。

日本医師会医学賞要項

1. 日本医師会医学賞 (Medical Award of The Japan Medical Association) は、日本医師会会員で、医学上重要な業績をあげたものに授与する。
 2. 本賞は、毎年 1 回、基礎医学・社会医学・臨床医学を通じ計 3 名に授与する (なお、本年度は副賞として 1 名 500 万円を授与する)。
 3. 日本医学会分科会長、大学院医学系研究科長または大学医学部長・医科大学長、大学附属病院長 (本院)、関係機関長、都道府県医師会長に各部門 1 名以内の推薦を依頼する。
 4. 本賞の選考は、日本医師会医学賞・医学研究助成費選考委員会が当たる。
-

日本医師会医学研究助成費要項

1. 日本医師会医学研究助成費 (Grant-in-Aid of The Japan Medical Association) は、日本医師会会員で、医学上将来性に富む研究を行っているものに授与する。
2. 本助成費は、毎年 1 回、基礎医学・社会医学・臨床医学を通じ 15 件に授与する (なお、本年度は 1 件 150 万円を授与する)。
3. 日本医学会分科会長、大学院医学系研究科長または大学医学部長・医科大学長、大学附属病院長 (本院)、関係機関長、都道府県医師会長に各部門それぞれ 1 件以内の推薦を依頼する。
4. 本助成費の選考は、日本医師会医学賞・医学研究助成費選考委員会が当たる。
5. 研究成果を論文によって発表する際には、和文・英文を問わず、日本医師会医学研究助成費の援助による旨を明記し、その別刷 2 部を下記に送付する。

(送付先 〒113-8621 東京都文京区本駒込 2-28-16 日本医師会生涯教育課)



平成17年度日本医師会医学賞候補者推薦書

部 門	整理番号*
-----	-------

賞1

氏 名		(19 年 月 日生)	
専攻 学 (例 内科学・呼吸器) (例 外科学・消化器)		(〒 —) 自宅住所： TEL () — FAX () —	
研究機関 名称： (〒 —) 所在地： TEL () — FAX () —		所属医師会 (1～3の全てにご記入下さい)	
所属・役職		1 日本医師会 (該当を○で囲んで下さい) A①, A②, B, C会員	
		2 () 都道府県医師会	
		3 () 都市区医師会または () 大学医師会	
所属する日本医学会分科会 (3学会以内)			
学会 学会 学会			
研究題目			
研究内容 (850字以内)			



平成17年度日本医師会医学賞候補者業績目録

部 門	候補者氏名
-----	-------

賞2

業績：主として推薦書の「研究内容」欄に関係のある論文を記入して下さい。
例〔雑誌の場合〕 著者名（原著の記載どおり）：論文題名、雑誌名、巻（号）：ページ、発行年。
〔単行本の場合〕 著者名（原著の記載どおり）：書名、発行所、発行所の所在地、発行年、ページ。



平成17年度日本医師会医学賞候補者履歴

部 門	候補者氏名
-----	-------

賞3

履歴：

学歴

職歴

表彰（受賞）等



平成17年度日本医師会医学賞候補者推薦理由

部 門	候補者氏名
-----	-------

賞4

推薦者氏名	所属機関・役職名
印	

推薦理由（500字以内）

注 意 事 項

1. 本賞は、毎年1回、基礎医学・社会医学・臨床医学を通じ計3名に授与するものです（本年度は副賞として1名500万円）。
2. 被推薦者は、日本医師会会員であることが条件です。所属医師会を必ずご記入下さい。
3. 「推薦者」は、日本医学会分科会長、大学院医学系研究科長または大学医学部長・医科大学長、大学附属病院長（本院）、関係機関長、都道府県医師会長に限ります。
なお、推薦は各部門1名以内です。
4. 用紙は4枚（賞1～4）あります。整理番号＊欄を除き全てご記入下さい。
（用紙は、日本医師会のホームページ（<http://www.med.or.jp/>）からダウンロードできます。）
5. 「部門」欄には、「基礎」「社会」「臨床」のいずれか審査を希望する部門を、必ずご記入下さい。
6. 業績欄に記入した文献のうち主要なもの（別刷可）を、添付して下さい。
7. ワープロまたは黒インク、黒ボールペンで、字数の範囲以内で記入して下さい。
8. 送付先は〒113-8621 東京都文京区本駒込2-28-16 日本医師会生涯教育課宛、
封筒に「医学賞」推薦書類在中と朱筆下さい。



平成17年度日本医師会医学研究助成費申請書

部 門	整理番号*
-----	-------

助1

氏 名	年齢	自宅住所 (〒 —)
印 (19 年 月 日生)		TEL () —
専攻 _____ 学 _____ (例 内科学・呼吸器)	略 歴	年
研究機関 名称: _____ (例 外科学・消化器)		年
所在地: _____ (〒 —)		年
TEL () —		年
FAX () —		
所属・役職		所属医師会 (1～3の全てにご記入下さい)
		1 日本医師会 (該当を○で囲んで下さい) A①, A②, B, C会員
		2 () 都道府県医師会
		3 () 郡市区医師会または () 大学医師会
所属する日本医学会分科会 (3学会以内)	学会	学会
過去における日本医師会医学研究助成費の受領 (該当する項に○印をつけてください)	有 (年度),	無
研究題目		

研究計画 (850字以内) (研究目的, 対象, 方法, 期間, 予想される成果, 協力者の有無, 本助成費以外の研究費の出所)

部 門

申請者氏名

助2

国内外における同分野の研究内容について

業績：主として当研究計画に関する主な著書、論文等を10点以内で記入して下さい。

例 著者名（原著の記載どおり）：論文題名、雑誌名、巻（号）：ページ、発行年。



平成17年度日本医師会医学研究助成費申請書

部 門

申請者氏名

助3

推薦者氏名

所属機関・役職名

印

推薦理由 (250字以内)

注 意 事 項

1. 本助成費は、毎年1回、基礎医学・社会医学・臨床医学を通じ計15件に授与するものです
(本年度は1件150万円)。
2. 申請者は、日本医師会会員であることが条件です。所属医師会を必ずご記入下さい。
3. 「推薦者」は、日本医学会分科会長、大学院医学系研究科長または大学医学部長・医科大学長、大学
附属病院長(本院)、関係機関長、都道府県医師会長に限ります。
なお、推薦は各部門1件以内です。
4. 用紙は3枚(助1～3)あります。整理番号*欄を除き全てご記入下さい。
(用紙は、日本医師会のホームページ(<http://www.med.or.jp/>)からダウンロードできます。)
5. 「部門」欄には、「基礎」「社会」「臨床」のいずれか審査を希望する部門を、必ずご記入下さい。
6. ワードプロまたは黒インク、黒ボールペンで、字数の範囲以内で記入して下さい。
7. 送付先は〒113-8621 東京都文京区本駒込2-28-16 日本医師会生涯教育課宛。
封筒に「助成費」申請書類在中と朱筆下さい。

「日本医師会医学賞」ならびに「日本医師会医学研究助成費」一覧
昭和 36～平成 16 年度

医学賞〔 奨励賞：昭和 36 年～昭和 42 年〕
〔 医学賞：昭和 43 年～現 在 〕

年度	医学賞 (旧奨励賞)	医 学 研 究 助 成 費
36	神経の組織培養による研究 中井準之助 (東 大) 排尿機構の中枢性統制 久留 勝 (国立がんセンター)	
37	糖尿病の実験病理学的研究 岡本 耕造 (京 大) 副行循環に関する研究 中村 隆 (東 北 大)	脳髄の自律神経系に関する生理学的形態学的研究 伴 忠康 (阪 大) 炎症に関する生化学的研究 市原 明 (阪 大) 淋巴球の機能に関する免疫病理学的研究 花岡 正男 (京 大) 肝性昏睡生起因子としての低級脂酸 高橋善弥太 (東 大) 肺化膿症の研究 篠井 金吾 (東 医 大)
38	知覚神経分布に関する研究 (人の知覚) 瀬戸 八郎 (東 北 大) ホルモンの生理および病理に関する臨床的研究 三宅 儀 (京 大)	細胞内膜系の機能分化に関する研究 山田 英智 (九 大) 各種疾患時における血清および組織トランスアミナーゼの動向について一特に免疫化学的研究を中心として 和田 博 (阪 大) ステロイドホルモンの作用機構に関する研究 三浦 義彰 (千 葉 大) 慢性肺疾患に関する研究一特に慢性肺性心について 笹本 浩 (慶 大) 膵内分泌の神経体液性調節に関する研究 小坂 樹徳 (東 大)
39	ウイルスの増殖に関する電子顕微鏡学的研究 東 昇 (京 大) 胆石症の成因ならびにその治療に関する研究 三宅 博 (九 大)	ヒスタミンの遊離および代謝に関する研究 山崎 英正 (岡 山 大) 視床の自律系反応に関する実験的組織学的研究 堺 章 (阪 大) 癌に関する医化学的研究 中田 陽造 (阪 大) 薄層クロマトおよびガスクロマトグラフィー法によるステロイドホルモンの微量測定法の基礎的研究 井林 博 (東 大) 鎮静的脳手術の研究 佐野 圭司 (東 大)
40	シナプスの微細構造に関する研究 浜 清 (阪 大) 脾臓外科の研究 (特に脾臓全切除) 本庄 一夫 (京 大)	ステロイドホルモン生合成のダイナミックス 清水久太郎 (鳥 取 大) 癌特異抗原性蛋白質の免疫化学的研究 平井 秀松 (北 大) 中枢神経細胞の電気生理学的研究 荒木辰之助 (京 大) 眼の物質代謝, とくに網膜物質代謝 倉知 与志 (金 沢 大) 心臓の刺激伝導に関する研究 村尾 覚 (東 大)
41	リンパ本幹に関する解剖学的研究 忽那 将愛 (熊 本 大) 眩暈症の研究 福田 精 (岐 阜 大)	細胞膜の機能 吉田 博 (阪 大) 有機水銀中毒症の病理学的研究 武内 忠男 (熊 本 大) 小脳皮質活動の分析 高比良英輔 (神 戸 大) アデノウイルス 12 型標的細胞の組織培養 小川 勝士 (岡 山 大) 人尿中抗結核因子の同定 大島 駿作 (京 大) 有機水銀その他の重金属と神経障害に関する研究 椿 忠雄 (新 潟 大) 重症末梢循環障害症と副腎髄質摘除術 桑原 悟 (鳥 取 大) 正常人血清中に存在する殺菌因子の研究解析 臼井 朋包 (京 大) 尿細管転送異常疾患の分子生化学的研究 epi-tetracycline 投与による仮性 Fanconi 症候群 阿部 裕 (阪 大) 脳灌流法による脳アミノ酸の動的代謝 奥村 二吉 (岡 山 大) 大月 三郎 (岡 山 大) 渡辺 昌佑 (岡 山 大)

年度	医 学 賞	医 学 研 究 助 成 費
42	バラ睡眠の生理学的研究 時実 利彦 (東 大) 消化性潰瘍の研究 大井 実 (慈恵医大)	卵黄粒蛋白分子の結晶格子に関する研究 本陣 良平 (金 沢 大) オートラジオグラフィーと電子顕微鏡による脳腫瘍の研究 藤田 哲也 (京府医大) バラインフルエンザ・ウイルス感染に伴う細胞の形質変換 石田名香雄 (東 北 大) ウイルスの感染ならびに増殖の機構に関する生化学的研究 高木 康敬 (九 大) 日本脳炎の血清疫学的研究 緒方 正名 (岡 山 大) 腎血管性高血圧症の研究 (特に手術適応決定に関する研究) 和田 達雄 (横浜市大) 脳血管性障害の研究 亀山 正邦 (浴 風 会 院) 癌転移防止に関する研究 伊藤英太郎 (阪 大) 肝性腹水と横隔膜機能 奥田 邦雄 (久留米大) 血管柄つき遊離皮弁に関する研究 藤野 豊美 (慶 大)
43	馬杉腎炎の免疫病理学的研究 岡林 篤 (千 葉 大) 真菌および真菌症の研究 高橋 吉定 (東 北 大)	細胞質におけるタンパク合成と膜系との関係 田代 裕 (関西医大) 先天性代謝異常, とくに先天性ヘモグロビン代謝異常の分子遺伝学的研究 中島 熙 (東医歯大) 神経ホルモンに関する基礎的研究 佐野 豊 (京府医大) ホルモンの貯蔵と遊離に関する研究, 特にカテコールアミンの貯蔵と遊離について 岡 源郎 (阪 大) 脂質代謝の調節機構 沼 正作 (京 大) Budd-Chiari 症候群の外科治療に関する研究 秋田 八年 (鹿児島大) 血小板の粘着, 凝集に関する研究 松岡 松三 (新 潟 大) 腎盂腎炎に関する研究 上田 泰 (慈恵医大) 老年者の糖代謝に関する研究 村地 悌二 (日 医 大) エレクトロニクス的心臓外科への応用, とくにペースメーカーによる心拍の人為的制御についての研究 三枝 正裕 (東 大)
44	交叉泳動法に関する研究 中村正二郎 (山 口 大) 間脳下垂体系の機能に関する研究 辻 昇三 (神 戸 大)	ロウ D の構造およびアジュバント活性発現機構について 田中 渥 (九 大) 脊髄動物網膜の電気活動, 特に S 電位の発生機序について 渡辺 宏助 (東女医大) トリプトファンより助酵素 NAD およびセロトニンの生合成とその新しい生物学的機能に関する研究 西塚 泰美 (神 戸 大) 人工心臓の研究 渥美 和彦 (東 大) 脱髄性抗体の検索と臨床的意義 米沢 猛 (京府医大) 日本人の生理的老化とこれにおよぼす社会的要因の分析 中村 正 (長 崎 大) 医事に関する基本的法理論の研究 小野 恵 (東女医大) アルコールの医学的研究 何川 涼 (鳥 取 大) 肝炎慢性化機構の生化学的研究 小坂 淳夫 (岡 山 大) 武田 和久 (岡 山 大) 寺脇 保 (鹿児島大) リウマチ心炎発病機転の研究 難波 益之 (岐 阜 大) ミオクロストんかんの臨床ならびに神経病理学的研究 榊原 欣作 (名 大) 着床の研究 飯塚 理八 (慶 大) 各種血液疾患における造血細胞の分化と増殖に関する研究 高久 史麿 (東 大) 眼の臨床薬理学 桐沢 長徳 (東 北 大)

年度	医 学 賞	医 学 研 究 助 成 費
45	伝達性ある薬剤耐性遺伝子 R の疫学的、遺伝学的研究とその対策 三橋 進 (群馬大) イタイイタイ病の研究 村田 勇 (富山県立中央病院)	胸腺リンパ組織系に関する実験形態学的研究 伊藤 隆 (北 大) 動物脳における薬物の吸収および排泄に関する研究、とくにその新方法ならびに頭蓋内循環動態に関する知見 斉藤 章二 (日 大) 降圧剤の作用機序 (特に生体内カテコールアミンの動態を中心にして) 泉 太 (阪 大) 抗ガン剤の細菌学的研究 林 喬義 (札幌医大) 核外遺伝子の研究 若林 一彦 (東 大) 自己免疫疾患の基礎的研究 (特に抗原抗体系の細胞障害作用に関して) 京極 方久 (京 大) リンパ節内 2 次小節の抗体産生機構への参加 小島 瑞 (福島医大) 食生活分析方法の合理化と、地域における食生活改善対策への線形計画法の導入についての実証的研究 豊川 裕之 (東 大) 視細胞脆弱性の基礎的研究—網膜色素変性症原因究明のために 水野 勝義 (名 市 大) 皮膚結合組織の研究 佐野 栄春 (神 戸 大) 放射性ステロイドホルモンの臨床的応用に関する研究 河野 剛 (京 大) 脳腫瘍の培養細胞の走査電子顕微鏡による研究 永井 政勝 (東 大) ビリルビン脳障害の成因と予防に関する研究 馬場 一雄 (日 大) 外科領域における難治性ショックの病態と治療に関する研究 玉熊 正悦 (東 大) 乳児開心根治術 日笠 頼則 (京 大)
46	結合組織病の病理学的研究 大高 裕一 (東 医 大) 脳卒中に関する研究 勝木司馬之助 (九州中央病院)	視細胞における光受容機構 埴 功 (岐 阜 大) 白血病の発生機構に関する基礎的研究 横路謙次郎 (広 島 大) 痛覚の神経生理学的研究 中浜 博 (東 北 大) 細菌の増殖機構に関する走査電子顕微鏡的研究 俵 寿太郎 (岡 山 大) 肝リンパ管と肝結合組織との関係に関する実験的ならびに電顕、組織化学的研究 鉤 スミ子 (阪 医 大) 細胞周期の分子生物学的研究 真野 嘉長 (東 大) 高血圧の疫学的研究、とくに地域保健からみた対策についての基本問題への接近 佐々木直亮 (弘 前 大) 日本における末梢動脈閉塞性疾患の特異性—とくに Buerger 病の本態について 稲田 潔 (岐 阜 大) 前白血病状態の探知に関する研究 内野 治人 (広 島 大) 生体膜と免疫に関する研究 有森 茂 (岡 山 大) 空間における動体視知覚の動揺と視覚適性の開発 鈴村 昭弘 (名 大) 心筋スキヤニングに関する研究 遠藤 真弘 (東女医大) 抗生物質腎毒性の定量的測定法に関する研究 名出 頼男 (慶 大) 左心機能に関する臨床的ならびに基礎的研究 安田 寿一 (東 大) Vasopressin と循環動態 吉田 尚 (東 大)
47	副腎皮質に関する実験的研究 中尾 健 (慈恵医大) 生体の X 線による解剖 高橋 信次 (名 大)	求心性刺激の変性神経細胞におよぼす影響について 金関 毅 (岐 阜 大) α -フェトプロテインの生化学的、臨床的研究 西 信三 (北 大) 胸腺における実験的リンパ細胞の形成とその免疫学的意義 小谷 正彦 (熊 本 大) 慢性関節リウマチの発病機に関する実験的研究 青木 重久 (阪 医 大) 分離ニューロンとグリア細胞の生化学的特徴に関する研究 永田 豊 (慶 大) 重金属中毒に対する純系マウス間の感受性の差異に関する研究 西川 漢八 (日 大) 心筋局所血流量と心筋機能に関する研究 中村 元臣 (九 大) 内視鏡を応用した消化管機能検査法の開発—内視鏡直視下食道胃粘膜 PH の測定 綿貫 喆 (慈恵医大)

年度	医 学 賞	医 学 研 究 助 成 費
47		アルカリフォスファターゼアイソザイムに関する研究 鈴木 宏 (東 大) 早期糖尿病の病態と糖尿病素質の診断に関する研究 後藤 由夫 (弘 前 大) 産科ショックの研究 真木 正博 (弘 前 大) 赤血球加齢崩壊の機序に関する生化学的ならびに病理学的研究 三輪 史朗 (山 形 大) 色覚異常者の色感—信号燈誤認と関連して 飯沼 巖 (和 医 大) 蕁麻疹発現機序に関する研究 矢村 卓三 (広 島 大) 急性頭蓋内圧亢進の病態生理に関する研究 景山 直樹 (名 大) 永井 肇 (名 大)
48	酵素反応メカニズムに関する研究 八木 国夫 (名 大) 神経眼科学, 特に視神経障害に関し, 球後視神経炎, 視交叉クモ膜炎並びに脳腫瘍における眼科学的研究, 家族性視神経萎縮症(レーベル氏病)の研究 井街 譲 (兵庫医大)	視覚の中枢機序に関する実験解剖学的研究 新見嘉兵衛 (岡 山 大) 脊椎動物網膜のシナプス機構および伝達物質の研究 村上 元彦 (慶 大) 骨髄—血液関門の立体微細構造 三好萬佐行 (福 岡 大) 人細胞における EB ウイルスと C 型ウイルスの重感染に関する研究 大里外誉郎 (北 大) 老化現象(組織リポオキシゲネーション)の生理的予防因子としての甲状腺ホルモンの作用 中野 稔 (群 馬 大) 血液型よりみたアイヌおよび沖縄住民の遺伝学的位置づけ 三沢 章吾 (杏 林 大) 振動, 騒音の生体影響, 許容値に関する研究 岡田 晃 (金 沢 大) カドミウム中毒に関する基礎的研究 野見山一生 (群 馬 大) 喉頭の機能的顕微鏡下手術法 斉藤 成司 (慶 大) 開心術後低心拍出量症状群における代謝の研究 吉竹 毅 (東 大) 消化管運動の電気生理学的ならびに映像工学的研究 小野 慶一 (弘 前 大) 下垂体ホルモン分泌調節機構とその異常に関する研究 井村 裕夫 (神 戸 大) 脂腺の機能と病態に関する研究 佐藤 良夫 (新 潟 大) 血栓形成における血小板のエネルギー代謝 蔵本 淳 (広 島 大) 糖尿病の系統的診断法に関する研究 垂井清一郎 (阪 大)
49	化学感覚としての食欲の神経生理学的調節 大村 裕 (金 沢 大) 哺乳類卵の受精前後の動態に関する研究 林 基之 (東 邦 大)	神経細胞の特異性に関する生化学的研究 佐武 明 (新 潟 大) 小脳連合系の形態学的・機能的 research 出浦 滋之 (岐 阜 大) 細胞核で合成される新生体高分子物質ポリ ADP—リボースの研究の医学領域への発展 三輪 正直 (東 大) 脊椎動物網膜の神経構築 金子 章道 (慶 大) アミノ酸系神経伝達物質に関する研究 栗山 欣彌 (京府医大) PCB 中毒に関する実験的研究 糸川 嘉則 (京 大) 麻酔時の脳代謝と脳波との関連 武下 浩 (山 形 大) 膠原病の病態ならびに診断と治療の解析 大藤 真 (岡 山 大) 病巣扁桃の抗原成分に関する研究 猪 初男 (新 潟 大) 胆道と脾臓の相関に関する臨床的研究 秋田 八年 (鹿 児 島 大) 小児期の微少血尿 山本 博章 (日 医 大) ベーチェット病の原因と治療 浦山 晃 (秋 田 大) 殺菌, 防かび剤による光線過敏症の基礎的ならびに臨床的研究 水野 信行 (名 市 大) 非呼吸性肺機能に関する研究 萩原 忠文 (日 大) 心電図の総合的アナログ電子計算機分析システムの開発とその臨床応用に関する研究 森 博愛 (徳 島 大)

年度	医 学 賞	医 学 研 究 助 成 費
50	エネルギー代謝を中心とする赤血球 その他細胞膜の生化学的研究 中尾 真・中尾 順子 (東医歯大) 胃癌の外科療法の研究—診断及び治 療法の研究による遠隔成績の向上 梶谷 鑑 (癌 研)	随意運動の神経機序に関する研究 加藤 正道 (北 大) 超微量技術による単一神経細胞の生化学的解析 加藤 尚彦 (東 大) RNA 腫瘍ウイルスによる発癌機構の研究 高野 利也 (慶 大) 正常人白血球のハムスターへの移植によるリンパ 球系腫瘍の発生 三好 勇夫 (岡 山 大) いわゆるターヘル・アナトミアの研究 酒井 恒 (名 大) 脳内アミン減少ラットの精神障害モデルとしての 検討 福田 健夫 (九 大) 職業性疾患と血清酵素活性測定による肝機能検査 石津 澄子 (東女医大) Para-vestibular Canaliculus の発見とその後の形態 学的研究 小倉 義郎 (岡 山 大) 長時間連続心電図記録による狭心症の臨床的基礎 的研究 矢永 尚士 (九 大) 冬期の乳児急性下痢・所謂仮性小児コレラの病因 ウイルスに関する研究 今野 多助 (東 北 大) 麻酔薬の中枢神経作用機序に関する実験的研究 森 健次郎 (京 大) リアル・タイム超音波心臓断層法による心臓形態 ・動態の連続的分析並びにその臨床応用 仁村 泰治 (阪 大) 屍体腎移植の臨床と研究 佐藤 博 (千 葉 大) 岩崎 洋治 戸部 隆吉 (京 大) 腹部外科領域におけるウイルス学の諸問題 清寺 真 (東 北 大)
51	炎症における細胞動員の機構、とく に免疫グロブリンの新しい意義につ いて 林 秀男 (熊 本 大) 心筋梗塞の発症防止に関する研究 木村 登 (久留米大)	核小体の構造と機能に関する研究 村松 正實 (徳 島 大) 鳥類の言語中枢機構 斉藤 望 (独協医大) 生殖の内分泌薬理学的研究、殊に黄体機能と卵巣 内新活性黄体ホルモンの役割、存在意義 平井 正直 (聖マ医大) 視床下部一下垂体系の超微形態学 塩谷弥兵衛 (阪 大) かぜ症候群の臨床ウイルス学的研究、とくにライ ノウイルス、コロナウイルスを中心として 川名 林治 (岩手医大) レアギン産生の抑制に関する研究 多田 富雄 (千 葉 大) 染色体異常の予防に関する細胞遺伝学的疫学研究 渡辺 敏一 (新 潟 大) 家族性消化管ポリポージスに関する研究 宇都宮譲二 (東医歯大) 日本人の閉塞性動脈硬化症の病態に関する研究 稲田 潔 (岐 阜 大) 免疫グロブリン異常症の研究 高月 清 (京 大) 骨組織への血管移植 保利 喜英 (奈良医大) Substance P と神経系に関する臨床的および実験 的研究 鬼頭 昭三 (広 島 大) 有機水銀中毒症における眼症状の発生機序に関す る病理学的研究 岡村 良一 (熊 本 大) インスリン分泌機序の基礎的研究 金澤 康德 (東 大) 粒子加速器の医学利用に関する研究 梅垣洋一郎 (放 医 研)
52	消化管ホルモンの分泌機序の研究 藤田 恒夫 (新 潟 大) 眼底の細隙燈顕微鏡法—その理論と 臨床 梶浦 睦雄 (福島医大)	細胞傷害、老化における過酸化脂質代謝調節因子 としての Glutathione peroxidase—生化学的、免 疫細胞化学的観察 渡辺 慶一 (東 海 大) 内因性無痛物質の生理学的意義に関する研究 横田 敏勝 (滋賀医大) 中枢アミンの病態の解析とその治療法の開発に関 する蛍光組織化学的薬理学的研究 田中千賀子 (神 戸 大) 筋ジストロフィー症における筋蛋白崩壊と特異的 プロテアーゼの関係 勝沼 信彦 (徳 島 大) 腸管における吸収と分泌機構に関する電子顕微鏡 的研究 山元 寅男 (九 大) 小型 DNA ウイルスによる細胞ガン化の機構 木村 元喜 (九大癌研) 学校教室空気環境基準に関する研究 河原林忠男 (旭川医大) 呼吸生理における鼻呼吸の意義 戸川 清 (秋 田 大) 川崎病 (MCLS) に関する研究 川崎 富作 (日赤医療 センター)

年度	医 学 賞	医 学 研 究 助 成 費
52		抗血栓性物質の開発研究—特に新しい人工血管材料の開発 松本 博志 (東 大) 脳血流減少が肺に与える影響 野口 宏 (愛知医大) 特発性心筋症の臨床的ならびに実験的研究 河合 忠一 (京 大) 高圧電子線大量照射動脈管による頸部頸動脈血行 松村 浩 (関西医大) 再建に関する研究 七里 元亮 (阪 大) 血糖調節機構の制御特性に関する研究—人工膵島の 井形 昭弘 (鹿児島大) 開発とその臨床応用 丸山 征郎 脳血栓症の成因と予防および治療に関する研究
53	動物組織における蛋白質生合成の研究 緒方規矩雄 (新 潟 大) 心臓異常興奮・伝導の基礎的研究 佐野 豊美 (東医歯大) 難 治 研	人 P 式血液型の発現に関する研究 牧田 章 (北 大) いわゆる健康体における運動ストレスの研究 小野 三嗣 (学 芸 大) 発癌の Promotion に関する研究 北川 知行 (癌 研) 腸管感染症における細菌由来生物活性物質の病態 三輪谷俊夫 (阪 大) 微生物研 生理学的研究—腸炎ビブリオ感染症を中心に 内臓平滑筋の臓器特異性と薬物の作用機構につい 栗山 熙 (九 大) て 可溶性物質ラジオオートグラフィーの組織化学へ 永田 哲士 (信 州 大) の応用 大阪府下一僻地における人畜共通性寄生虫疾患と 荒木 恒治 (奈良医大) してマンスン裂頭条幼虫症(マンスン孤虫症)の 疫学・病態・治療に関する調査研究 細胞移植外科—遊離肝細胞脾内移植による肝機能 水戸 迪郎 (旭川医大) 補助に関する研究 先天性アミノ酸代謝異常症の酵素障害に関する研 多田 啓也 (東 北 大) 究 思春期女子の内分泌学的・心理学的ならびに社会 玉田 太朗 (自治医大) 学的研究 ソマトメジンの生理的及び病態生理的意義に関す 高野加寿恵 (東女医大) る研究 障害肝に対する手術適応限界の新しい判定法の開 小沢 和恵 (京 大) 発 原発性免疫不全の発症機構の研究 伊藤 和彦 (神 戸 大) 尿路粘膜系組織での局所免疫機構に関する研究 岡島英五郎 (奈良医大) 悪性高熱の病態および疫学の研究 盛生 倫夫 (広 島 大)
54	膜形成性脂質栄養症 membranous lipodystrophy (那須) の病理 那須 毅 (信 州 大) 感染と生体反応—リウマチ熱の研究 から 寺脇 保 (鹿児島大)	心筋収縮制御の特異性 小浜 一弘 (東 大) 冠動脈硬化進展における冠動脈壁内循環の役割に 桜井 勇 (日 大) 関する病理学的研究 脳ミエリン特異・環状ヌクレオチド水解酵素に関 高橋 康夫 (新 潟 大) する研究 深部組織の痛み受容器と自律神経調節 熊澤 孝朗 (名 大) 免疫応答機構の解析と免疫制御 岸本 忠三 (阪 大) 血清 Gamma Glutamyl Transpeptidase の健康診断 近藤 東郎 (慶 大) 学的研究 精神分裂病の長期カラムネーゼの研究 町山 幸輝 (群 馬 大) インスリン分泌とカルシウムに関する基礎的研究 菊地 方利 (東 大) 胆石症の病態と疫学の研究 亀田 治男 (慈恵医大) 肝切除成績向上をめざして、特に肝切除後残存肝 水本 龍二 (三 重 大) 機能予備力の術前評価に関する研究 各種呼吸器疾患における肺胞上皮細胞の病態に関 岡田 慶夫 (滋賀医大) する超微形態学的研究 局所進行性癌に対する術中照射と放射線増感剤、 阿部 光幸 (京 大) 加温併用療法に関する研究 静脈栄養と微量金属代謝 岡田 正 (阪 大) ヒト SLE における抑制性 T 細胞機能の病態 坂根 剛 (島根医大) 亜急性海綿状脳症の実験的研究 立石 潤 (九 大)

年度	医 学 賞	医 学 研 究 助 成 費
55	日本人のHLA抗原の研究 相沢 幹 (北 大) アンチアンドロゲンに関する基礎的、臨床的研究 志田 圭三 (群馬大)	造血組織の発生分化と胎児期造血に関する研究 福田多禾男 (東北大抗酸菌病研) 中枢神経成長物質の研究 小幡 邦彦 (群馬大) 細胞隔合法による抑制T細胞因子の分子・遺伝子論的解析 谷口 克 (千葉大環境疫研) 抗高血圧薬の作用機構に関する研究 三須 良実 (横浜市大) 生体における免疫学的恒常性維持と免疫担当細胞のFcリセプター機能に関する細胞生物学的研究 増田 徹 (京大免疫研究施設) 中高年者・肥満者の運動と栄養を中心とした生活処方 渡辺 孟 (愛媛大) ヒトα_1-microglobulinの基礎的および臨床的研究 河合 忠 (自治医大) 実験鞏皮症の作成に関する研究 石川 英一 (群馬大) 脾臓に対する脾全摘術後糖尿病防止に関する研究 渡辺 一男 (千葉大) 佐藤 博 前立腺癌早期診断のための定量的酸フォスファターゼ測定法の開発 町田 豊平 (慈恵医大) 細胞のブドウ糖認識機構と糖尿病 仁木 厚 (愛知学院大歯学部) ブタ透明帯抗原による免疫学的避妊法の開発に関する研究 森 崇英 (京 大) 成長ホルモンならびにプロラクチン分泌調節における神経ペプチドの役割に関する臨床的ならびに実験的研究 加藤 譲 (京 大) ムコリビドーシスの病因に関する研究—細胞融合法を用いた病因解明 藪内 百治 (阪 大) 脈絡膜循環の特異性と循環障害時の病態についての実験的研究 宇山 昌延 (関西医大)
56	ヘムおよび関連物質の代謝に関する研究 菊地 吾郎 (東北大) 成長ホルモンに関する基礎的臨床的研究 鎮目 和夫 (東女医大)	大脳皮質とくに符号認知に関連する連合野についての形態学的研究 川村 光毅 (岩手医大) パラミクソウイルス持続感染細胞の研究 渋谷 博 (東大医科研) ヒト免疫応答の遺伝的制御とその難病の発症における役割の解析 笹月 健彦 (東医歯大難治研) 副腎皮質刺激ホルモン-β-リポトロピン前駆体遺伝子の発現制御機構に関する研究 中西 重忠 (京大免疫研究施設) 細胞内Ca^{2+}受容蛋白カルモデュリンの医学生物学 垣内 史朗 (阪 大) 動脈硬化症におけるコラーゲン代謝異常の基礎的研究 大島 章 (和医大) メタロチオネイン(重金属結合蛋白質)と重金属代謝に関する研究 小島 豊 (京 大) 新生児の呼吸窮迫症候群(RDS)の成因と新しい治療法の開発 藤原 哲郎 (秋田大) 株化エリトロポエチン産生腫瘍からのエリトロポエチンの純化とその臨床的応用 高久 史麿 (自治医大) アレルギー疾患患者のIgE抗体産生機構について 宮本 昭正 (東 大) 受動免疫法による視床下部下垂体ホルモン作用機構の研究 牧野 恒久 (慶 大) 唇裂口蓋裂の治療に関する実験的ならびに臨床的研究 一色 信彦 (京 大) 硝子体外科のバイオロジー 本田 孔士 (京 大) 高血圧の成因、病態解明に関する内分泌学的研究 熊原 雄一 (阪 大) 免疫系に関連した突然変異の研究—自己免疫性疾患発症における病因的意義の解析 草場 公宏 (九 大)

年度	医 学 賞	医 学 研 究 助 成 費
57	出生前淘汰の細胞遺伝学的研究 渡辺 巖一(新潟大) 下垂体腫瘍の外科的治療並びに内分泌学的, 病理学的研究 景山 直樹(名大)	大脳皮質による瞳孔運動制御の生理学的・解剖学的研究 正村 和彦(弘前大) 肝臓支配神経機能の電気生理学的研究 新島 旭(新潟大) 補体遺伝子のクローニング—免疫異常研究への応用 高橋 守信(金沢大) 細胞内 Ca^{2+} レセプター拮抗薬の基礎的研究 日高 弘義(三重大) SAM(老化促進モデルマウス)の開発 竹田 俊男(京結核大) アフィニティ・ラベルによる実験的代謝病態の解析 森野 能昌(熊本大) 栄養疫学の方法論の開発と応用 豊川 裕之(東大保健学科) 男子におけるオキシトシン分泌ならびに生理作用に関する研究 福地 總逸(福島医大) ヒトにおける自己抗体産生機序に関する細胞レベルでの解析 矢田 純一(東医歯大) 異種生体弁の開放位固定法の研究 今村栄三郎(東女医大) 脾臓癌の早期診断 高木 国夫(癌研病院) 上咽頭癌の腫瘍免疫学的研究 澤木 修二(横浜市大) 重症筋無力症の病因, 病態および治療に関する免疫学的研究 高守 正治(金沢大) 悪性卵巣腫瘍の集学的治療法 友田 豊(名大) 切除不能肝癌に対する間欠的肝動脈遮断と制癌剤併用に関する臨床的実験的研究 中瀬 明(島根医大)
58	老化の細胞形態学的研究 田内 久(愛知医大) 赤血球酸素異常による溶血性貧血の臨床的, 遺伝生化学的研究 三輪 史朗(東大)	センダイウイルス(HVJ)の活性化現象に基づくマウス肺病原性機構の解析 本間 守男(山形大) 肝オルニチン脱炭酸酵素の調節の分子機序 林 伸一(慈恵医大) 発熱物質投与による体温調節反応の解離 入来 正躬(山梨医大) 免疫系の系統発生に関する研究 栗屋 和彦(山口大) 炎症局所に見出された新しい免疫応答増幅因子の性状と作用機構 吉永 秀(熊本大) 広域県における子宮癌検診の能率化とフローサイトメトリーによる自動化のフィールドテスト 西谷 巖(岩手医大) 生体肺局所リンパ流路の研究に基づいた左肺癌拡大根治術々式(胸骨正中切開経路による)の開発 羽田 圓城(自治医大) CT誘導による定位脳手術—セクタ型超音波装置による術中 monitoring の併用について— 伊関 洋(東女医大) 硬膜外導出法によるヒト脊髄誘発電位の臨床応用に関する研究 下地 恒毅(新潟大) 胆道形成異常による肝・胆・脾疾患の臨床とその発症機序に関する研究 松本 由朗(山梨医大) 遺伝性ムコ多糖代謝異常症の酵素診断, 保因者検索および治療 折居 忠夫(岐阜大) 本態性高血圧症に関する研究 青木 久三(名古屋市大) 肝硬変合併肝癌に対する手術成績向上に関する研究. 特に肝広範切除における多臓器管理の重要性について 川原田嘉文(三重大) 角膜上皮障害に対する新しい治療の試み—フィブロネクチンの基礎と臨床— 真鍋 禮三(阪大) 脳における甲状腺ホルモンの代謝と作用機構に関する研究 稲田 満夫(関西医大)
59	免疫応答統御因子に関する研究 多田 富雄(東大) 門脈圧亢進症の外科的研究(とくに食道静脈瘤の選択的シャント術) 井口 潔(九大)	インスリン受容体の磷酸化とその意義に関する基礎的研究 春日 雅人(東大) テトラヒドロピオプテリン補酵素によるチロシンモノオキシゲナーゼの調節に関する研究 永津 俊治(名大) 視床における痛覚伝達の神経生理学的研究 横田 敏勝(滋賀医大)

年度	医 学 賞	医 学 研 究 助 成 費
59		ビタミンB₁₂代謝異常性疾患の発症機構の解明に関する研究 西野 幸典 (京 大) 細胞工学的手法によるリンパ球機能の解析 渡辺 武 (佐賀医大) 心身障害児の健康管理システムに関する研究 日暮 真 (山梨医大) 効果的骨髓移植療法に関する検討—GVH 反応抑制に働くクローン化T細胞の樹立— 宮崎 保 (北 大) ヒト消化器癌関連抗原に対するモノクローナル抗体の診断・治療への応用 今井 浩三 (札幌医大) 多嚢胞卵巣症候群に関する研究 針生 峰子 (秋 田 大) ヒト白血病細胞から有用物質生産性の単球・マクロファージ系細胞株及び雑種細胞株の樹立とその臨床応用 斉藤 政樹 (自治医大) 血清ビリルビン抱合体分析による閉塞性黄疸、とくに先天性胆道閉鎖症の鑑別診断 石田 清 (埼玉医大) ニーマンピック病動物モデルの発見とそれによる治療法の開発的研究 北川 照男 (日 大) 中耳真珠腫の成立機転 本多 芳男 (慈恵医大) Adrenoleukodystrophy 成因に関する研究 宮武 正 (新 潟 大) 脾大量切除後の残脾の再生促進に関する研究 鈴木 敏 (京 大)
60	人体のATP合成酵素とその遺伝子のエネルギー代謝における意義 香川 靖雄 (自治医大) 先天代謝異常症に関する臨床的、生化学的研究 多田 啓也 (東 北 大)	歩行運動とその統御機構 森 茂美 (旭川医大) 癌など細胞増殖における4種のリボヌクレオシド2リン酸還元酵素に関する研究 藤村 眞示 (千 葉 大) 消化管の内在神経叢のペプチドニューロン 小林 繁 (山梨医大) 性の分化・成熟とその異常 松本 圭史 (阪 大) アルコール感受性の個人差・民族差に関する研究 溝井 泰彦 (神 戸 大) レーザー励起による消化管癌の蛍光スペクトル分析およびその蛍光物質の解明に関する研究 福富 久之 (筑 波 大) マクロファージの泡沫化機構に関する基礎的研究 村勢 敏郎 (東 大) 計量診断のための次世代ソフトウェアの研究 古川 俊之 (東 大) DNA多型現象(RFLP)の臨床的応用に関する研究 中込 彌男 (国立小児病院小児医療研究センター) バイオリアクターの開発と臨床検査診断学への応用 高阪 彰 (名 大) 活性酸素、脂質過酸化反応およびスーパーオキシドディスムターゼに関する研究 小林陽之助 (関西医大) 高血圧の生化学的研究—レニン・アンジオテンシン系の生化学— 国府 達郎 (愛 媛 大) 言語および書字能力を廃絶した重度身体障害者のリハビリテーション—特にコミュニケーション機器の開発— 首藤 貴 (愛 媛 大) 極小未熟児・超未熟児における頭蓋内出血の病態、予防および治療に関する研究 相良 祐輔 (高知医大) 眼内膜様病変の超音波特性に関する研究 澤田 惇 (宮崎医大)
61	癌細胞の異物化に関する研究 小林 博 (北 大) 麻酔、手術侵襲及び痛みの内分泌機能に及ぼす影響 尾山 力 (弘 前 大)	新しいがん遺伝子、rig(rat insulinoma gene)の発見と構造解析 岡本 宏 (東 北 大) 心筋収縮制御機構と新強心薬作用機序の解明 遠藤 政夫 (山 形 大) 加齢に伴う自律神経とホルモン分泌機能の変化 佐藤 昭夫 (都 老 人 総 合 研) ヒト胚細胞腫瘍の分化能に関する研究—ヒト体細胞分化機構の実験的アプローチ— 秦 順一 (国立小児病院小児医療研究センター) リンパ腫発生・進展に関わる胸腺微小環境の実験的研究 日合 弘 (愛知県がんセンター研) 癌組織における細胞性免疫反応の免疫組織学的解析とその増強に関する研究 瀬口 春道 (高知医大)

年度	医 学 賞	医 学 研 究 助 成 費
61		生物学的暴露モニタリング 緒方 正名 (岡 山 大) 抗癌剤のマイクロカプセル化と微小化学塞栓療法 の開発 加藤 哲郎 (秋 田 大) 過敏性肺炎の臨床的ならびに免疫学的研究 河合 健 (慶 大) 視力と立体視よりみた形態覚遮断弱視の研究 栗屋 忍 (名 大) 糖鎖性癌抗原に対するモノクローナル抗体のカク テルを用いた癌の血清診断 神奈木玲児 (京 大) 動脈硬化症の基礎疾患に関連する遺伝素因の分子 生物学的解析 山本 章 (国立循環器病 セ ン タ ー) レーザー光線を用いる新しい血管吻合法：基礎と 臨床 岡田 昌義 (神 戸 大) 「前白血病状態」治療方針設定のための細胞遺伝学 的ならびに分子生物学的研究 鎌田 七男 (広島大原爆 放射能医学研) 尿素サイクル異常症の遺伝子解析と臨床応用 松田 一郎 (熊 本 大)
62	血色素の生理と病理の分子論 米山 良昌 (金 沢 大) 成人 T 細胞白血病の研究 高月 清 (熊 本 大) Hirschsprung 病に関する研究 岡本 英三 (兵庫医大)	分化と悪性化の過程にある重層上皮組織細胞膜の 組織細胞化学的特性 平野 寛 (杏 林 大) 変異酵素からみた老化の基礎的研究 谷口 直之 (阪 大) T リンパ球分化における胸腺支質細胞と胸腺リン パ球の相互反応の解析 伊藤 恒敏 (東 北 大) C 型インフルエンザウイルス糖蛋白質の構造と機 能 中村喜代人 (山 形 大) プライマリヘルスケアにおける Health risk as- sessment 法を用いた個人健康指標の疫学的評 価とその応用 吉田 勝美 (慶 大) 白血病細胞の増殖・分化の研究—蛋白リン酸化酵 素の関連— 桜田 恵右 (北 大) プリン作動物質の心・血管機能調節機構に関する 基礎的研究 杉本 恒明 (東 大) モノクローナル抗体を用いる甲状腺癌の診断及び 治療に関する研究 森 徹 (京 大) 骨髄異形成症候群の病態と治療に関する研究 吉田弥太郎 (京 大) 動物モデルによる ATL の研究 三好 勇夫 (高知医大) マルチプルサルファターゼ欠損症の病因の解明に 関する研究 衛藤 義勝 (慈恵医大) 乳酸脱水素酵素サブユニット欠損症に関する研究 菅野 剛史 (浜松医大) 経食道ドップラ断層法による解離性大動脈瘤の構 造と血流動態に関する無侵襲検査 高本 眞一 (埼玉医大) 生理活性ペプチドの胎児・胎盤における代謝とそ の分解酵素に関する研究 水谷 栄彦 (名 大) 硝子体腔からの物質の能動輸送に関する基礎的臨 床的研究 三宅 謙作 (三宅病院)
63	ホルモン分泌細胞の機能形態学 藤田 尚男 (阪 大) 川崎病に関する研究 川崎 富作 (日 赤 セ ン タ ー) 大動脈瘤の外科治療に関する研究 井上 正 (慶 大)	小脳性運動失調症動物モデルによる移植脳内の神 経回路形成の研究 川村 光毅 (慶 大) 性ホルモンによる神経回路形成の分子機構 佐久間康夫 (弘 前 大) IL-2 遺伝子導入マウスを用いた自己免疫疾患の 研究 垣生 園子 (東 海 大) ラット肝移植モデルによる新しい免疫学分野の開 拓 鎌田 直司 (国 立 小児病院) トランスジェニックマウスを用いたヒト優性遺伝 病の発症機構の解析 山村 研一 (熊 本 大) 新潟県における突然死の実態とその発生要因につ いて 豊嶋 英明 (新 潟 大) 白血病細胞の DNA メチル化に関する研究 小峰 光博 (群 馬 大) 異常インスリン“Insulin Wakayama”に関する研究 南條輝志男 (和 医 大) 心不全における循環調節異常の発現機序に関する 研究 竹下 彰 (九 大)

年度	医 学 賞	医 学 研 究 助 成 費
63		遺伝性β-ガラクトシダーゼ欠損症の分子遺伝学的解析ならびにその治療法の開発 鈴木 義之 (国立神経センター) 肝癌切除後の抗アンドロゲン療法の有用性に関する研究 永末 直文 (島根医大) 膵内分泌腫瘍治療のための新しい局在診断法の開発 今村 正之 (京 大) 損傷脊椎の機能再建と Spinal instrumentation の開発に関する研究 金田 清志 (北 大) 成人型呼吸窮迫症候群 (ARDS) に対するサーファクタント補充療法 小林 勉 (金 沢 大) 電話回線を用いた地域におけるハイリスク妊娠管理システムの開発 原 量宏 (香川医大)
平成 元	平滑筋収縮の分子薬理学的研究—その構造蛋白質の機能ドメインの研究とエンドセリンの構造と機能の研究— 真崎 知生 (筑 波 大) 造血因子に関する基礎的・臨床的研究 高久 史麿 (東 大) 肺癌のリンパ節転移と外科手術との相関に関する研究 成毛 韶夫 (国立がんセンター)	遺伝性神経疾患モデルマウスに見られる神経回路網変更改の法則性 井上 芳郎 (北 大) 再灌流時におけるラジカル発生の直接証明 中澤 博江 (東 海 大) 尿素サイクル酵素遺伝子群の構造と発現およびその異常 森 正敬 (熊 本 大) 単クローン抗体応用による腎障害機序の解析 清水不二雄 (新 潟 大) 沖縄県における糞線虫対策—特に、駆虫法に関する研究— 斎藤 厚 (琉 球 大) 血小板由来血管内皮細胞増殖因子の臨床的研究 宮園 浩平 (東 大) 自己免疫疾患の成因における成人T細胞白血病ウイルスの役割に関する研究 西岡久寿樹 (東女医大) インスリン抵抗性糖尿病におけるインスリン受容体遺伝子の解析 小林 正 (滋賀医大) 動脈硬化の成因に関する研究—高脂血症家兎を用いた研究— 北 徹 (京 大) 出産後自己免疫性甲状腺症候群に関する研究 網野 信行 (阪 大) 遺伝子多型型を利用した高グリシン血症の診断法の確立 早坂 清 (秋 田 大) 急性右心不全に対する肺動脈内バルーンパンピング法の有効性に関する実験的検討 田村 栄稔 (国立大阪病院) 子宮外胎児保育装置 (人工子宮) の開発 桑原 慶紀 (東 大) 視機能の老化—視覚誘発電位の語るもの— 安達恵美子 (千 葉 大) 凍結前温度保存による自己血輸血の研究 佐藤 暢 (鳥 取 大)
2	インターロイキン6 (IL-6) に関する研究 岸本 忠三 (阪 大) 筋肉の酵素異常に関する臨床的ならびに分子生物学的研究 垂井清一郎 (阪 大) 腎盂尿管鏡の開発に関する基礎的・臨床的研究 阿曾 佳郎 (東 大)	脊髄後角における痛覚制御機構—免疫細胞化学的研究— 熱海佐保子 (山梨医大) 生体物質および病因物質の超高感度測定法の開発と臨床応用 石川 栄治 (宮崎医大) 脳の記憶機構のクロライドイオン関連シグナルによる解析 稲垣千代子 (関西医大) ヒト消化管における免疫機構の神経内分泌による制御機構の研究—炎症性腸疾患の病因解明をめざして— 名倉 宏 (東 北 大) がん遺伝子の活性化とシグナル伝達の異常の研究 渋谷 正史 (東 大) 脳の発育期における化学物質曝露の高次神経機能障害の発生機序に関する研究 重田 定義 (東 海 大) 糖尿病発症とインスリン受容体遺伝子異常に関する研究 牧野 英一 (千 葉 大) 骨粗鬆症の発症機序および治療に関する基礎的研究 松本 俊夫 (東 大) 冠動脈攣縮の成因と病態生理に関する研究 友池 仁暢 (九 大) 免疫不全症候群の病態と治療に関する研究 松本 脩三 (北 大) 癌の生物学的悪性度の指標としての癌辺縁組織内蛋白分解酵素活性値の利用—癌と間質の interaction からみて— 吉野 肇一 (慶 大) 重症慢性関節リウマチ患者の臨床的および病態的解明 越智 隆弘 (阪 大) 眼内血管新生と手術 田野 保雄 (大阪病院)

年度	医 学 賞	医 学 研 究 助 成 費
2		絨毛性疾患の発症機構に関する分子遺伝学的研究 和気 徳男 (九 大) ネコの橋における蓄尿促進神経機構に関する研究—蓄尿促進部位の局在と機能的役割の解明— 西沢 理 (秋 田 大)
3	神経細胞・細胞骨格の分子細胞生物学的研究 廣川 信隆 (東 大) 神経内分泌学に関する基礎的・臨床的研究—とくに神経ペプチドの役割について— 井村 裕夫 (京 大) 川崎病 (MCLS) に起因する冠動脈疾患、小児虚血性心疾患に対する外科治療の開発 北村惣一郎 (奈良医大)	生体内細胞移動に関与する細胞相互認識機構—リンパ球の再循環機構を中心にして— 田中 寿子 (慈恵医大) Wilson 病疾患モデル動物の樹立とその発症機序の遺伝学的および病理学的研究 武市 紀年 (北 大) エストロゲンによる胸腺外 T リンパ球分化の活性化と自己免疫疾患女性優位現象 安保 徹 (新 潟 大) 原虫感染における宿主防御機構およびエスケープ機構に係わる熱ショック蛋白質の役割 姫野 國祐 (徳 島 大) 心筋細胞内 Ca 濃度調節と収縮制御に関する研究 栗原 敏 (慈恵医大) 職域がん検診のシステム化に関する研究 岡崎 勲 (慶 大) 慢性心不全に対する新しい治療法：サウナ浴および温水浴による温熱性血管拡張療法 鄭 忠和 (鹿児島大) 糖尿病の発症と糖輸送担体遺伝子 岡 芳知 (東 大) 骨髓異形成症候群の分子病態の解析 平井 久丸 (東 大) 成人 T 細胞白血病における IL-2 受容体発現に関する研究 内山 卓 (京 大) 脂質性オートコイドの代謝と作用機構に関する生化学的、分子生物学的研究 渡辺 毅 (東 大) BRM による新しいがん局所免疫療法の開発 島野 高志 (阪 大) 眼先天異常の成立機序 白井正一郎 (名 市 大) 内視鏡使用による副鼻腔手術々式の開発 森山 寛 (慈恵医大) 尿路結石症の病態と治療に関する研究 郡 健二郎 (近 畿 大)
4	薬物代謝酵素に関する分子薬理学的研究 加藤 隆一 (慶 大) アルファ 2 プラスミンインヒビターの発見とその臨床的意義の解明 青木 延雄 (東医歯大) MRI による眼球運動の研究とその応用 稲富 昭太 (滋賀医大)	神経組織に特異的な接着性膜糖蛋白質の構造と機能の研究 植村 慶一 (慶 大) クラス II MHC 遺伝子導入腫瘍を用いた腫瘍拒絶反応の効果的誘導 中山 睿一 (岡 山 大) $\gamma\delta$ 型 T 細胞の分化と機能 吉開 泰信 (名 大) 肺癌の組織発生、細胞動態、増殖及び分子生物学 河合 俊明 (防衛医大) 脳腱黄色腫 (CTX) の遺伝子診断 脊山 洋右 (東 大) 原爆被爆者データベースの構築とシステム化に関する研究 早川 式彦 (広 島 大) 顆粒リンパ球増多症の病態と治療に関する研究 押味 和夫 (東女医大) Helicobacter pylori 感染性を有するサルにおける感染実験 福田 能啓 (兵庫医大) インスリン非依存型糖尿病における膵ラ島アミロイド蛋白に関する研究 三家登喜夫 (和 歌 山 大) アポ E のコレステロール代謝における意義—発生工学的手法を用いた解析 山田 信博 (東 大) Secretory leukoprotease inhibitor (SLPI) 遺伝子の発現調節 阿部 達也 (東 北 大) 日本人に多発する難治性ぶどう膜炎の分子遺伝学的研究 大野 重昭 (横浜市大) リンパ球除去による immunomodulation—腎移植における応用 田島 惇 (東大分院) 癌転移に関する新しいファクター、MIA 抗原と MRP-1 (CD9) に関する研究 三宅 正幸 (北野病院) ヒト食道癌の浸潤・転移に関する因子 塩崎 均 (阪 大)
5	カテコールアミンの分子生物学的研究 永津 俊治 (藤 田 大) 心筋症に関する基礎的・臨床的研究—ウイルス感染免疫学説の提唱とその実証— 河合 忠一 (京 都 大)	ジアシグリセロールキナーゼの分子多様性と神経・免疫系での機能的意義 近藤 尚武 (東 北 大) 細胞死に伴い活性化される遺伝子の同定—mRNA display 法を用いて— 佐藤 真 (阪 大) 癌原遺伝子発現法による循環中枢神経回路の研究 三浦 光彦 (群 馬 大) 哺乳類一次知覚ニューロンにおける情報処理機構の遺伝子工学的手法による解析 緒方 宣邦 (九 州 大)

年度	医 学 賞	医 学 研 究 助 成 費
5	腫瘍マーカーの研究 森 武貞 (大 阪 大)	本態性高血圧症におけるアンギオテンシノーゲン (AGT) 遺伝子の役割と地域医療への応用；北海道虻田町住民検診での検討 羽田 明 (北海道大) ヒト消化管腫瘍におけるガストリン受容体遺伝子の発現とその突然変異に関する研究 木下 芳一 (神 戸 大) じん肺症における肺内病変と沈着粉じんの鉱物学的成分の関連 斎藤 芳晃 (珪 肺 労災病院) 稀な血液凝固異常症の発見、ならびにその分子異常と病態生理に関する研究 重清 俊雄 (徳 島 大) 糖尿病の発症におけるインスリン分泌機構異常に関する研究 清野 裕 (京 都 大) 糖尿病の成因としてのインスリン受容体異常、グルコキナーゼ異常、ミトコンドリア異常に関する研究 門脇 孝 (東 大) 先天性脂質代謝異常症の遺伝子治療に向けての基礎的研究 衛藤 義勝 (慈恵医大) 大腸癌の転移性決定因子としての糖鎖分子発現機構の解析と転移制御への臨床応用 中森 正二 (大阪成人病センター) 弓部大動脈手術における低体温逆行性脳循環法による脳保護効果の研究 高本 真一 (国立循環器 病センター) 血管内皮細胞と合成繊維によって構築するハイブリッド型人工血管の研究 高木 淳彦 (東 大) 網膜複合糖質の分子細胞生物学的研究—視細胞変性機構の解明に向けて— 上原 文行 (鹿児島大)
6	マスト細胞の分化・生存・癌化の制御機構 北村 幸彦 (大 阪 大) 難治性神経疾患の解明—SMON から HAM へ— 井形 昭弘 (国立療養所中部病院)	筋細胞における機能的収縮構造構築の機構とダイナミクスに関する分子細胞生物学的研究 嶋田 裕 (千 葉 大) 遺伝子標的組込みによる疾患モデルマウス作製系の確立 島田 和典 (阪 大) 抗不整脈薬の有効性を判定する動物モデル不整脈の開発 橋本敬太郎 (山梨医大) 癌免疫における癌拒絶抗原としての熱ショック蛋白質の研究 佐藤 昇志 (札幌医大) 虚血性心疾患の発生・進展におけるサイトカインの役割に関する基礎的・臨床的研究 下川 宏明 (九 州 大) 久山町の地域住民における老年期痴呆の有病率および発症率の疫学調査 藤島 正敏 (九 州 大) イオンチャネルの制御による血管平滑筋細胞の増殖コントロール法の確立 小島 至 (群 馬 大) アルツハイマー病脳におけるβ蛋白分子種の ELISA およびマススペクトロメトリーによる検討 玉岡 晃 (筑 波 大) アルツハイマー病におけるイノシトールリン脂質代謝異常の分子生物学的研究 下濱 俊 (京 都 大) 癌の放射線治療効果と種々の癌関連遺伝子発現に関する免疫組織化学的検討 小川 恭弘 (高知医大) 眼皮膚白皮症の原因となるチロジナーゼ遺伝子の変異についての研究 富田 靖 (秋 田 大) ヒト生理活性物質のみから構成される新しい治療薬の開発 上田 政和 (慶 應 大) パーキンソン病に対する星状神経節移植術が認知機能に及ぼす影響について 前島伸一郎 (和 歌 山 医 大) 加齢による性機能低下の実態及びその中枢性要因に関する検討 佐藤 嘉一 (札幌医大) 脊髄におけるプロスタグランジンの痛覚に及ぼす影響 南 敏明 (大阪医大) 細胞傷害性遺伝子を用いた上皮性卵巣癌に対する遺伝子治療の基礎的臨床的検討 田中 憲一 (新 潟 大)
7	喫煙の発がん影響解明と対策に関する研究 渡邊 昌 (国立がんセンター)	視交叉上核における概日リズム発現及び同調の分子機構に関する研究 岡村 均 (神 戸 大)

年度	医 学 賞	医 学 研 究 助 成 費
7	消化器癌の増殖，浸潤，転移に関連する遺伝子の研究 谷内 昭（札幌医大） 先天性心疾患に対する新しい外科治療法の開発 川島 康生 （国立循環器病センター）	新たな補体活性化経路，レクチン経路に関する研究 藤田 禎三（福島医大） ストレス応答による免疫制御の分子機構の解析 吉開 泰信（名古屋大） 開発途上国における母子保健向上のための方法論 倉辻 忠俊 （国立小児医 療センター） 前白血病状態から白血病への進展の分子機構の解析 三谷 絹子（東 大） アンジオテンシン II 受容体サブタイプ遺伝子の発現調節と新しい転写抑制蛋白の構造決定に関する研究 松原 弘明（関西医大） HTLV-I 型関節症の分子生物学的病因解明と遺伝子治療の開発 北島 勲（鹿児島大） インスリン依存性糖尿病（IDDM）の予知・予防を目的とした分子遺伝学的研究 池上 博司（阪 大） 多機能器官再生因子 HGFcDNA 導入による肺線維症遺伝子治療に関する研究 八重柏政宏（東北大加 齢医学研） IgA 腎症における糸球体障害の細胞生物学的研究 吉岡加寿夫（近 畿 大） ヒト遺伝子組換え型 bFGF(Basic fibroblast growth factor) を用いた虚血性心疾患に対する外科的血管新生療法の基礎的研究 小塚 裕（東 大） 遺伝子の多型性分析からみた癌発生および転移の予知と人種間での発癌特異性の解析 加藤 俊二（日 医 大） 微量癌細胞検出のための遺伝子学的診断法の確立 森 正樹 （九大生体防御医学研） 網膜虚血に基づく遅発性神経細胞死の細胞内機構の解明と保護物質の開発 柏井 聡（京 大） 尿路性器癌における抗癌剤耐性の機序と克服に関する研究 内藤 誠二（九 大）
8	哺乳類中枢神経系の発生・分化の分子生物学的解析 御子柴克彦 （東大医科研） パーキンソン病の発症機序と治療に関する総合的研究 水野 美邦（順天堂大） 後天性心疾患の外科治療の開発と確立 鈴木 章夫（東医歯大）	神経シナプス後部の神経特異的細胞骨格の研究 白尾 智明（群 馬 大） 視神経再生と視覚機能回復 福田 淳（阪 大） 家族性アルツハイマー病の分子病態の解明と拮抗物質の研究 西本 育夫（慶 大） プリオン蛋白の機能とプリオン病の病態解明 宮本 勉（長 崎 大） 動脈硬化発症におけるスカベンジャー受容体ファミリー遺伝子の機能 児玉 龍彦（東 大 先端科研） 移植心冠動脈硬化症の分子機序と遺伝子治療 磯部 光章（信 州 大） インスリン依存型糖尿病（IDDM）における細胞傷害性 T 細胞の脾 B 細胞傷害機構の解明 伊藤 直人（阪 大） 水利尿剤の開発へ向けたバゾプレシン水チャネルの構造と機能の解析 伏見 清秀（東医歯大） Helicobacter pylori 感染による胃粘膜障害の発生機序—特に胃癌との関わりを中心に— 浅香 正博（北 大） 固形癌局所に浸潤，集積している T 細胞の抗原レセプター機能の試験管内再構築 山本 一彦 （九大生体防御医学研） シェーグレン症候群の特異的制御へのアプローチ—自己反応性 T 細胞と自己抗原の解析 住田 孝之（聖マ医大） カンピロバクター腸炎後ギラン・バレー症候群の発症機序 結城 伸泰（獨協医大） 血管内皮保護を目的とした新しい肺保存液の開発 和田 洋巳（京大胸部 疾 患 研） 肺癌におけるがん関連遺伝子の異常とその外科臨床腫瘍学への応用 光富 徹哉 （愛知県がんセンター） 網膜色素上皮移植による網膜・脈絡膜萎縮症治療を目指して 玉井 信（東 北 大）
9	デュシェンヌ型及びデュシェンヌ様筋ジストロフィーの分子論的研究 小沢鉄二郎 （国立精神・神経センター）	遺伝子ノックアウトマウスを用いた痛覚情報処理機構の解析 緒方 宣邦（広 島 大） 骨形成異常の発症機構に関する分子遺伝学的研究 村垣 泰光（和 歌 山 医 大）

年度	医 学 賞	医 学 研 究 助 成 費
9	心血管系の発生・分化と負荷に対する適応に関する研究とその臨床応用 矢崎 義雄 (東 大) 高カロリー輸液のわが国への導入・確立, 臨床栄養研究の展開 岡田 正 (阪 大)	糖尿病治療薬スルホニール尿素剤の作用機構の解明 稲垣 暢也 (千 葉 大) 低濃度フッ化物暴露作業者の健康管理に関する研究—腎毒性と加齢に伴う腎機能低下との相互影響について 河野 公一 (阪 医 大) 白血病発症の分子機構の解析 平井 久丸 (東 大) 血管老化と平滑筋細胞増殖の分子機構 永井 良三 (群 大) バセドウ病の発症並びに甲状腺中毒症の維持・増悪機構に関する研究 西川 光重 (関西医大) 脾液中癌関連遺伝子分析による脾癌診断法の開発 澤武 紀雄 (金 沢 大 が ん 研) IgA 腎症の発症の病因解明に関する研究 (IgA 腎症患者における <i>Haemophilus parainfluenzae</i> 抗原に対する扁桃リンパ球の免疫応答について) 鈴木 亨 (福井医大) Ca チャンネル異常による小脳失調症の発症機序の解明 水澤 英洋 (東医歯大) 重症型遺伝性皮膚疾患の遺伝子診断ならびに培養表皮シートを用いた遺伝子治療法の基礎研究 清水 宏 (慶 大) 癌遺伝子治療の新たな分子ターゲット/癌化シグナル抑制分子開発による癌治療への応用 田中 真二 (九大生体防御医学研) 遺伝子導入法による虚血耐性獲得を応用した心筋保護法の確立に関する研究 澤 芳樹 (阪 大) 網膜神経細胞再生過程に於ける選択的遺伝子発現と神経細胞移植へ向けての基礎的研究 梶原 一人 (慶 大) ヒト精子形成遺伝子の同定および精子形成機構の解明 並木 幹夫 (金 沢 大)
10	血清肝炎ウイルスの基礎的研究と臨床応用 真弓 忠 (自治医大) 先天性脂質代謝異常症の分子生物学的研究並びに治療法の開発 衛藤 義勝 (慈恵医大) 食道癌外科治療成績の向上と術式の確立—胸部食道癌に対する3領域リンパ節郭清術— 磯野 可一 (千 葉 大)	エリスロポエチンの脳梗塞抑止作用 阪中 雅広 (愛 媛 大) 糖鎖欠落リコンビナントタンパク質製剤への糖鎖導入による生理活性の回復に関する研究 遠藤 正彦 (弘 前 大) 糖尿病合併症の新しい薬物療法の開発に向けた遺伝子改変マウスの作製 矢部(西村)千尋 (京都府医大) コンディショナル・ジーンターゲティングによるヒト発癌機構の解明 野田 哲生 (東 北 大) 性染色体上の DNA 多型を用いた個人識別—58 億分の 1 は識別できるか— 塩野 寛 (旭川医大) 造血幹細胞のクローン性増殖疾患の分子病態に関する研究 金倉 譲 (阪 大) Acute Coronary Syndrome 発症機転の研究—特に血流下の von Willebrand factor 依存性冠血栓形成機転の検討— 後藤 信哉 (東 海 大) 単離糸球体の三次元構造の同時解析及び組織所見の検討 伊藤 貞嘉 (東 北 大) 大腸腫瘍組織における TGFβ シグナル伝達機構の解析 松崎 恒一 (関西医大) インスリン受容体基質ファミリーのインスリン作用における役割 戸辺 一之 (東 大) 脳波・脳磁図によるヒト感覚機能の非侵襲的研究 橋本 勲 (都精神医 総 研) テロメラーゼを用いた脾癌の早期診断と治療 田中 雅夫 (九 州 大) 視覚情報処理機構の解明とその臨床応用 小口 芳久 (慶 大) ベル麻痺 (特発性顔面神経麻痺) の病因, 病態に関する研究 村上 信五 (名 古 屋 大) 発癌機構におけるステロイドホルモン及びステロイドホルモンレセプターの役割の解析と発癌に寄与するホルモン応答遺伝子の同定 (とくに Ras を介する腫瘍能獲得機構について) 加藤 聖子 (九州大生体防御医研)

年度	医 学 賞	医 学 研 究 助 成 費
11	MHC による免疫応答, 免疫システム 枠組み, および免疫疾患の制御機構 に関する研究 笹月 健彦 (九大生体防医研) 福山型先天性筋ジストロフィー—臨 床病型の確立から遺伝子クローニン グまで 福山 幸夫 (東女医大) 尿道下裂に対する形成術式の開発と 確立 小柳 知彦 (北 大)	肝臓由来幹様細胞を用いた肝臓再生工学 杉山 俊博 (秋 田 大) ヒト消化管ストローマ細胞腫瘍 (GISTs) 患者の予 後に対する <i>c-kit</i> 遺伝子変異の影響 廣田 誠一 (阪 大) アポリポプロテイン E 欠損マウスにおけるセロ トニン作働性神経系の異常—アルツハイマー病 の病態解明へ向けての新しい視点 成田 正明 (筑 波 大) 皮膚損傷の受傷後経過時間判定に関する法医病理 学的研究—細胞増殖因子を中心として 大島 徹 (金 沢 大) 遺伝子治療のための基盤テクノロジーの開発と応 用研究 小澤 敬也 (自治医大) 難治性循環器疾患の遺伝子治療のヒト臨床研究 森下 竜一 (阪 大) 心臓血管ホルモンの臨床的意義に関する分子医学 的研究 中尾 一和 (京 都 大) 剝離・変形を受けた気道上皮細胞に発現する機能 遺伝子の検索 中村 秀範 (山 形 大) 腸管アレルギーにおける感作リンパ球 migration の動態とその分子機構 三浦総一郎 (防衛医大) 慢性関節リウマチにおける滑膜増殖機構の解明と 遺伝子治療の試み 宮坂 信之 (医 歯 大) 肝臓の臓器再生治療に関する基礎的研究 谷口 英樹 (筑 波 大) 前立腺癌における転移抑制遺伝子の同定と解析 市川 智彦 (千 葉 大) 網脈絡膜循環における白血球動態評価とその意義 小椋祐一郎 (名 市 大) アデノ随伴ウイルスを用いた頭頸部癌に対する遺 伝子治療とその臨床応用 市村 恵一 (自治医大) 腹膜炎敗血症時の横隔膜機能の低下—原因, 予防 ならびに治療に関する研究 藤村 直幸 (札幌医大)
12	脂質メデイエーターによる生体制御 と病態生理に関する研究 清水 孝雄 (東 大) 内臓脂肪症候群の概念確立とその分 子機構の解明 松澤 佑次 (阪 大) 視神経炎—診断から視神経移植まで 安達恵美子 (千 葉 大)	アルツハイマー病における神経細胞死防御機序の 開発—痴呆の克服をめざして— 遠山 正彌 (阪 大) DNA チップを用いた新たなスクリーニング法に よる白血病の病態解明 間野 博行 (自治医大) 癌細胞内 pH の制御と固形癌の新しい治療戦略 河野 公俊 (産業医大) トランスジェニック動物を利用した異種間臓器移 植法の開発 佐田 政隆 (東 大) 小児期からの骨粗鬆症予防—最大骨量を高める方 策を開発する追跡研究 伊木 雅之 (近 畿 大) 転写制御因子による白血病発症の分子機構 黒川 峰夫 (東 大) 動脈硬化治療戦略: CETP を標的とした遺伝子治 療, 阻害薬, 過発現マウスと血管病変 朔 啓二郎 (福 岡 大) バセドウ病の病因・病態の解明による新たな治療 法の開発と予防転写制御因子による白血病発症 の分子機構 赤水 尚史 (京 都 大) 抗エストロゲン剤による非アルコール性脂肪肝炎 (NASH) の成因・治療・疾患感受性遺伝子の解 明 西原 利治 (高知医大) 脳動脈瘤が破裂にいたるプロセスの解明 片岡 和夫 (近 畿 大) 肝硬変に対する遺伝子治療の基礎的研究と臨床研 究への展望 藤元 治朗 (兵庫医大) 術後の異時性大腸癌発生の予知における micro- satellite instability の有用性 小西 文雄 (自治医大大宮医療センター) 移植自家静脈グラフト内膜肥厚の成因とその制 御—Nitric Oxide と遺伝子治療— 古森 公浩 (九 州 大) 泌尿器癌に対する腹腔鏡下手術の開発と臨床応用 小野 佳成 (名古屋大) テロメア・テロメラーゼ分子を介したがんの新しい 遺伝子治療法の開発 井上 正樹 (金 沢 大)
13	糖鎖と糖鎖遺伝子の新しい機能の発 見 谷口 直之 (阪 大 院)	全身性エリテマトーデスの発症に関わる遺伝素因 の解明 広瀬 幸子 (順 天 大) 転写因子遺伝子を用いた幹細胞のインスリン産生 細胞分化 倭 英司 (阪 大)

年度	医 学 賞	医 学 研 究 助 成 費
13	動脈硬化性心血管病の病態解明 竹下 彰 (九大院心臓血管研) 輸血後移植片対宿主病 (輸血後GVHD) に関する研究 十字 猛夫 (日赤血液センター)	インスリン抵抗性に関わる新規な脂肪組織特異的遺伝子の同定とその機能解析 小川 渉 (神戸大) チミジンホスホリラーゼの血管新生, 浸潤, 転移への関与とその阻害方法の開発 秋山 伸一 (鹿児島大腫瘍研) アジア巨大都市化の影響下にある日本の新たな社会医学課題の系統的解析手法の開発 高野 健人 (医歯大) 造血器腫瘍に対する新たな免疫遺伝子治療の開発 安川 正貴 (愛媛大) 心不全の再生治療 小室 一成 (千葉大) インスリンおよび運動による糖代謝促進の分子メカニズムと糖尿病における異常の解明 浅野知一郎 (東大) 転写統合装置を用いたリウマチ滑膜細胞の包括的理解 中島 利博 (聖マ医大難研センター) Desert Hedgehog (DHH) 遺伝子変異による新しい遺伝性末梢神経障害の病態解明 梅原 藤雄 (鹿児島大) 難治性疼痛 (求心路遮断痛) に対する大脳運動野刺激療法のメカニズム解析 齋藤 洋一 (阪大) 家族性乳癌の遺伝子診断とその臨床応用 野口眞三郎 (阪大バイオ研) 骨髄由来細胞による肝再生の機序とその制御に関する研究 長谷川 潔 (東大) 尿失禁の症状尺度と疾患特異的な QOL 尺度の開発 本間 之夫 (東大) 卵巣機能不全の病因・病態の解明と予防に関する研究 森田 豊 (東大)
14	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA) の耐性獲得機構の解明と全ゲノム塩基配列の決定 平松 啓一 (順天大) 先天性アミノ酸代謝異常の臨床分子遺伝—特に小児期高アンモニア血症の病態・病因解明と治療に関する研究 松田 一郎 (熊本大) 生体肝移植の確立と普及に関する研究 田中 紘一 (京都大)	ヒト癌で活性化されるシアリダーゼのシグナル分子としての役割 宮城 妙子 (宮城県がんセンター) 生活習慣病の病態に関わる新たな内分泌因子の同定とその医学応用 下村伊一郎 (阪大生命機能研究科) 「2型糖尿病・小太り」に関する遺伝素因の包括的探索 武田 純 (群馬大生体調節研) 癌抑制遺伝子 PTEN の生体における機能解析 鈴木 聡 (秋田大) 生活習慣要因と大腸がん病変の疫学研究 古野 純典 (九州大) 骨髄細胞を用いた再生心筋細胞の開発と細胞移植による心不全治療法の開発 福田 恵一 (慶應大) 膵β細胞グルコース応答性インスリン分泌における NADH シャトル機構の役割と解明 江藤 一弘 (東大) 脂肪萎縮性糖尿病におけるレプチンの治療薬としての臨床応用に関する研究 小川 佳宏 (京都大) ウールリッヒ病における VI 型コラーゲン欠損に関する病理学的及び遺伝子学的研究 樋口 逸郎 (鹿児島大) ヘムオキシゲナーゼ 1 (HO-1) の多面的生理学的意義: 世界初のヒト HO-1 欠損症例からの学習 小泉 晶一 (金沢大) 新しい脱細胞化同種/異種弁による弁移植医療の開発—至適脱細胞化弁の開発と自己細胞の誘導について— 北川 哲也 (徳島大) 重症頭部外傷後に長期植物状態を呈している患者の意識回復過程に関する研究 塩崎 忠彦 (阪大) 間葉系骨髄幹細胞の増殖・分化制御による軟骨再生 内尾 祐司 (島根医大) 角膜の再生医療 木下 茂 (京都府大) 卵巣における内分泌攪乱物質 (特にダイオキシンを中心に) の作用機序の解明 峯岸 敬 (群馬大)

年度	医 学 賞	医 学 研 究 助 成 費
15	体内時計の分子機構に関する研究 岡村 均 (神戸大) 動脈硬化の分子機構の解明とその成果の臨床応用 北 徹 (京 大) 末期重症心不全患者救命のための補助人工心臓の実用化に関する基礎的研究及び臨床応用 高野 久輝 (循環器病センター研)	p21 (WAF1/Cip1) による中枢神経軸索再生への試み 山下 俊英 (阪 大) 成人発症Ⅱ型シトルリン血症発症機序の解明と治療法の開発 佐伯 武頼 (鹿児島大) 慢性骨髄性白血病トランスジェニックモデルを用いた新たな癌進展関連遺伝子の単離と解析 本田 浩章 (広大原爆放医研) 高密度ゲノムアレイの開発と難治性疾患の病態解明 稲澤 譲治 (医歯大難治研) 無精子症における StAR 蛋白質結合蛋白質 (StAR-Binding-Protein; SBP) の役割の解明 菅原 照夫 (北 大) ヘリコバクター・ピロリ感染が胃がん頻度の地域差に与える影響についての研究 田邊 直仁 (新潟大) 加齢黄斑変性症の罹患率と生活習慣ならびに遺伝子多型の研究 寺崎 浩子 (名 大) 冠インターベンション後再狭窄に対する新規遺伝子治療・分子治療の探索研究とその臨床応用 江頭 健輔 (九 大) 腸管粘膜免疫および分化再生機構の特殊性を応用した炎症性腸疾患に対する画期的治療法開発 渡辺 守 (医歯大) 糖尿病性腎症に対する遺伝子医薬の開発に関する研究 古家 大祐 (滋賀医大) 遺伝性脱髄疾患の抗アポトーシス蛋白を用いた治療法の開発 大橋 十也 (慈医大) 腫瘍細胞の抗がん剤に対する耐性獲得機構の解明—Gastrointestinal Stromal Tumors における分子標的治療薬 (STI571) をモデルとして 西田 俊朗 (阪 大) 疾患感受性遺伝子解析を用いたステロイド性大腿骨頭壊死に対する予防法の確立 久保 俊一 (京府医大) 特発性黄斑円孔の病態に関する基礎的研究 池田 恒彦 (阪医大) 慢性閉塞性肺疾患モデルを利用した吸入麻酔薬の気道平滑筋弛緩作用の解明 山藤 道明 (札幌医大)
16	成人脳における神経幹細胞の同定と中枢神経系の再生医学 岡野 栄之 (慶應大) 新規ホルモン、ナトリウム利尿ペプチドとレプチン、の Translational Research 中尾 一和 (京 大) 尿路結石症の病態解明と予防法への応用研究 郡 健二郎 (名古屋市大)	転写因子 E2F-1 の発癌における役割の解明と癌予防への応用 古川 雄祐 (自治医大分子病態治療研) 成体心臓組織幹細胞の細胞株化と心筋細胞への分化の分子機序および誘導因子の解明 永井 敏雄 (千葉大) 消化管シグナルによる膵β細胞・脂肪細胞の機能関連とその破綻 山田祐一郎 (京 大) 網膜色素変性症に対する人工網膜開発に関する基礎的研究 不二門 尚 (阪 大) 緑内障感受性遺伝子多型の解明と個別化医療による失明予防 真島 行彦 (慶應大) オレキシン及びノルアドレナリンを指標とした乳幼児突然死症候群における覚醒不全の検証 澤口 聡子 (東女医大) 動脈硬化進展を抑制する新たな血液凝固調節因子の同定とその臨床応用に関する研究 東 博之 (徳島大) 劇症1型糖尿病患者膵に発現する遺伝子の網羅的検討 今川 彰久 (阪医大) ヒト心筋及び骨格筋から心筋再生医療に用いる心筋幹細胞株の樹立 王 英正 (京 大) HYPOXIA RESPONSIVE ELEMENT を利用した生体内低酸素モニタートランスジェニック動物による、進行性腎疾患での虚血状態の意義の解明 南学 正臣 (東 大) 骨髄幹細胞と生分解性素材を用いた再生血管の作成と臨床応用 新岡 俊治 (東女医大) 不活化単純ヘルペスウイルスを用いた癌免疫療法の確立と臨床応用 戸田 正博 (慶應大)

年度	医 学 賞	医 学 研 究 助 成 費
16		発癌機構の解析に基づく Ewing 肉腫の分子標的治療の開発 岩本 幸英 (九 州 大) 造影剤+超音波による NFκB-decoy-HGF 遺伝子同時導入：移植腎長期生着の試み 東 治人 (阪 医 大) 眼光学系および視覚の質に関する定量的解析 大鹿 哲郎 (筑 波 大)